

特定原子力施設検査成績書  
(使用前検査)

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

工事の工程 : 工事の計画に係る工事が完了した時  
対象設備 : 汚染水処理設備等  
                  中低濃度タンク  
                  RO濃縮水貯槽 (G3北エリア)  
要領書番号 : 原規規収第1912244号01


令和2年 1 月

原子力規制委員会

# 使用前検査成績書

1. 施設名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所
2. 検査の種類 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則第20条第1項の表第三号に係る汚染水処理設備等のうち中低濃度タンクのRO濃縮水貯槽（G3北エリア）の基礎外周堰の使用前検査
3. 検査申請 使用前検査申請番号  
廃炉発官R1第174号（令和元年12月24日）
4. 検査期日 自 令和2年1月30日  
至 令和2年1月30日
5. 検査場所 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所
6. 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
7. 検査結果 検査結果一覧表のとおり
8. 添付資料 (1) 検査前確認事項  
(2) 機能検査（漏えい拡大防止機能検査）記録

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年1月30日	山中 武 杉山 豊		なし
年 月 日			
年 月 日			

# 検査結果一覧表

設備名：汚染水処理設備等 中低濃度タンク

検	査	範	圍	機能検査		備	考
				漏えい防止機能検査	大拡能検査		
				令和2年 1月30日			
				良			
				年 月 日			
				年 月 日			

RO濃縮水貯槽 (G3北エリア)  
G3北エリア基礎外周堰

検査前確認事項

設備名 : 汚染水処理設備等 中低濃度タンク  
RO濃縮水貯槽 (G3北エリア)

検査年月日 : 令和2年1月30日

検査場所 : 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

検査項目 : 共通事項

確認事項	確認方法	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書(変更申請を含む。)が準備されていることを確認する。*	記録	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録	良	

(※) 使用前検査成績書の「3. 検査申請」に申請番号(変更申請番号を含む。)を記載する。

検査項目 : 共通事項

確認事項	確認方法	結果	備考
G3北エリアのタンク(RO濃縮水貯槽)からRO濃縮水を払出するための移送配管が撤去されていることを確認する。	立会又は <del>記録</del>	良	

検査前確認事項

設備名 : 汚染水処理設備等 中低濃度タンク  
RO濃縮水貯槽 (G3北エリア)

検査年月日 : 令和2年1月30日

検査場所 : 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

検査項目 : 機能検査(漏えい拡大防止機能検査)

確認事項	確認方法	確認対象	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	品質記録	良	
必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	実施計画等	良	
使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録等により確認する。	記録	校正記録等	良	
必要な基礎外周堰の高さに影響のある傾斜がないことを確認する。	記録	品質記録	良	

## 機能検査 (漏えい拡大防止機能検査) 記録

検査年月日 : 令和2年1月30日

検査場所 : 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所  
設備名 : 汚染水処理設備等 中低濃度タンク

検査対象・検査範囲	判定基準	結果
RO濃縮水貯槽 (G3北エリア)	G3北エリア基礎外周堰の堰内容量が実施計画に記載されている容量を満足すること。 実施計画記載容量 : <u>1,322 m<sup>3</sup>以上</u>  実容量 : <u>1,443 m<sup>3</sup></u>	良
	G3北エリア基礎外周堰の貯留範囲の表面部に機能に影響を及ぼす有害な欠陥がないこと。	良*

## 備考

\*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用前 (社内) 検査成績書

対象設備 : 汚染水処理設備等

中低濃度タンク

RO濃縮水貯槽 (G3北エリア)

G3北エリア基礎外周堰

令和2年1月28日

① 堰内の貯留可能面積 : 1,108 m<sup>2</sup>② 基礎外周堰の高さ (最小値) : 1,303 m実容量 (m<sup>3</sup>) = ① × ②

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認